



# 緑肥物語



果樹



野菜



休閑地

# 緑肥の力で環境保全



播種するだけで  
管理不要!

## 草生栽培・カバークロープ

P. 2 草生栽培と地表管理

R-007

P. 3 雪印ヘアリーベッチ

アンジェリア

P. 4 雪印系ナギナタガヤ

P. 5 ダイカンドラ

P. 6 果樹草生栽培用  
フルーツグラスの定番草種



緑肥作物で  
農薬飛散を  
防ぐ!

## ドリフトガード・地力増進

P. 7 ドリフトガード作物  
栽培方法と利用のポイント

P. 8 春から夏に播ける  
ドリフトガード作物

P. 9 秋に播いて翌春から利用できる  
ドリフトガード作物

P. 10 畑作物・野菜への  
地力増進緑肥の利用事例

P. 12 ドリフトガード作物の  
利用方法と播種量



# 環境にやさしい！ 緑肥作物による マルチングやドリフトガードで 安心・安全な農業を！

草生栽培は、土にやさしく、環境保全型農業に役立つ技術です。従来は伸長した草の刈り取り作業管理が必要なため、改善が求められていましたが、手間のかからない品種の出現により、省力的な地表管理が広がっています。また、農薬飛散（ドリフト）による隣接作物への対策としては、緑肥作物を用いた障壁作物によるドリフトガードがおすすめです。

## 草生栽培と地表管理

アール ゼロゼロセブン  
ライムギ **R-007**

春播き利用の「R-007」はカバークロープに最適です！



7月上旬の様子  
(5月に播いた場合)



7月下旬の様子。  
地上部が枯死し、枯れ草が地表をマルチング！

「R-007」は初期生育が早く、地表を早期に覆うため雑草の抑制や表土の飛散防止、豪雨による土壌流亡防止に効果が期待できます。特に春播き利用では、穂が出にくい特性があるため、種落ちの心配もなく初夏まで安心して利用できます。小型トラクターによるすき込み易さも魅力です。

播種期（春播き利用の場合）

寒高冷地	5月中旬～6月下旬
一般地	5月上旬～6月上旬
西南暖地	3月下旬～5月中旬

播種量

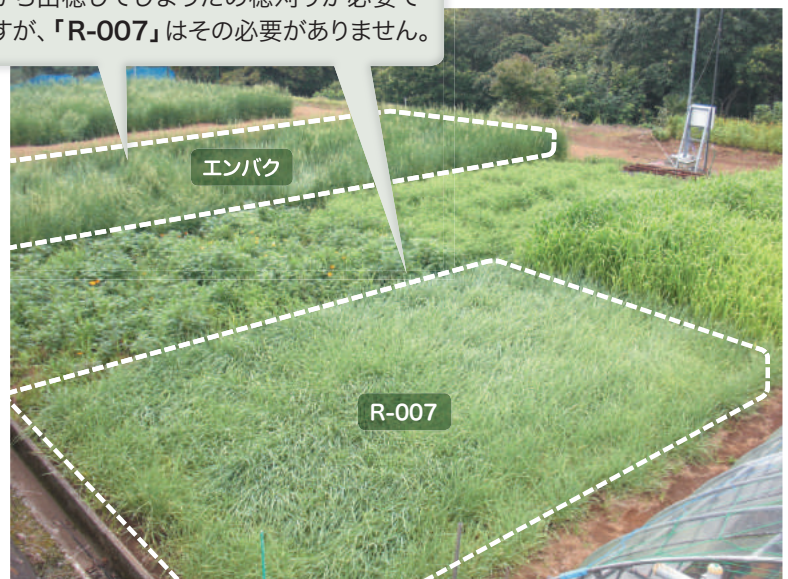
**10～15kg/10a**

### 利用のポイント

- ライムギの中でも春播きで出穂しにくい品種のため、エンバクと異なり種落ち防止のための穂刈りの手間が不要です。（早播きしすぎると出穂茎数は増えるので注意しましょう）
- 出穂しないため茎が柔らかく、すき込みも簡単です。
- 初期生育が早く、地表を早く覆うため表土の飛散や流亡の防止効果に優れています。
- 高温期には生育が停滞し、梅雨明けに枯死するため、カバークロープとして最適です。

春播きのエンバクは、播種後約2ヶ月目から出穂してしまうため穂刈りが必要ですが、「R-007」はその必要がありません。

春播きのR-007とエンバクの出穂状況（7月6日撮影）





# 雪印ヘアリーベッチ

寒太郎・藤えもん・まめ助

## アレロパシーと被覆のダブル効果で雑草抑制!



アレロパシー作用により、一年生雑草の発芽・生育を抑制!  
自然枯死した茎葉の被覆効果で長期の雑草抑制が期待できます。

### 播種期(長期雑草抑制や休耕地での利用の場合)

		播種時期	推奨品種
寒高冷地	秋播き	9月上旬～10月中旬	寒太郎
	春播き	4月上旬～5月上旬	寒太郎・藤えもん・まめ助
一般地	秋播き	9月中旬～11月上旬	寒太郎・藤えもん・まめ助
	春播き	3月上旬～4月上旬	寒太郎・藤えもん・まめ助
西南暖地	秋播き	9月下旬～11月下旬	寒太郎・藤えもん・まめ助
	春播き	2月中旬～3月下旬	寒太郎・藤えもん・まめ助

乾燥しやすい時期には、播種後の覆土や鎮圧により発芽初期生育が良好になります。

播種量

3～5kg/10a

### 寒太郎 長く効果を実感したい方におすすめ!

開花の遅い晩生品種のため生育期間が長く、長期の雑草抑制が期待できます。

耐寒性、耐雪性に優れ、北海道でも越冬できます。

全国どこでも安心して利用することができます。

### 藤えもん 早期に効果を期待したい方に!

生育開花が早い早生品種で、初期生育のスピードが速く、寒くても元気です。

低温伸張性に優れ、耐寒性・耐湿性に優れた品種です。

### まめ助 早期に効果を期待したい方に!

気温の上昇とともに、生育のスピードがアップします。

畑作利用に適した早生種です。



生育中(開花時期)



自然枯死後の雑草抑制  
(大麦収穫後に播種→晩夏に自然枯死)



ヘアリーベッチを播かない畑は雑草だらけ  
(大麦収穫後の状態)

# アンジェリア

## 防砂と土壌流亡防止、景観美化に最適!



発芽が早く、初期生育が旺盛なハゼリソウ科の作物です。  
地表の被覆が早いので、防砂対策や雑草抑制効果が期待できます。  
紫色の花が咲き、景観美化にも大好評です。

播種期	春播き	秋播き
寒高冷地	4月上旬～5月中旬	—
一般地	3月上旬～3月下旬	10月下旬～11月中旬
西南暖地	2月下旬～3月中旬	11月中旬～12月上旬

※種子が小さいため丁寧に播種し、覆土・鎮圧を行いましょ。

播種量

2～3kg/10a



# 雪印系ナギナタガヤ

果樹園の草生栽培におすすめです！



6月の状況

作業の徹底的な省力化を可能にするナギナタガヤ草生栽培は、「草にできることは草にまかせる」という自然界のゆるぎない合理性を活かした農業です。

環境に負荷を与えず、労働力の大幅な軽減が実現するため、各地で普及が拡大しています。

播種量

2~3kg/10a

播種期

寒高冷地	9月上旬~9月下旬
一般地	9月中旬~10月中旬
西南暖地	9月下旬~11月上旬

播種方法：散播

(手播き、または散粒機を使用)



2年目以降は落下種子によって再生(発芽生育)しますが、1~2kgの追播が効果的です。

## 雪印系ナギナタガヤの経時的変化



11月



2月



4月

## 雪印系ナギナタガヤの特性

### 早い段階で自然倒伏します

春~初夏にかけて自然倒伏するため、管理の作業性が向上！

被覆効果により雑草も抑えます。

敷わら状にして利用する場合は、刈取りや除草剤の必要がありません。

害虫被害も少ないため、農薬散布回数を増やさなくてもOK！

### 早い段階で枯死します

果樹との養分競合の期間が短いため、安心して利用可能です。

自然枯死による有機物補給が可能となり、堆肥の代替えや経費節約にも。

根による耕作効果とあわせて、土壌は団粒化するため、継続利用により土壌改善が可能になります。

### 地表被覆期間が長い！

農繁期の除草刈取り管理も不要で、雑草抑制期間も長期持続可能。

夏の日照りや秋の長雨といった環境の激変から果樹などの根を保護します。

### 果樹の根を活性化！

有用菌(VA菌根菌など)により果樹の根を活性化させます。

### 果樹園以外のカバークロップとしても有効！

果樹以外の樹木作物や、休閒地などの雑草抑制目的利用にも有効。

### 「雪印系ナギナタガヤ」と養分競合について

永年性作物である果樹には生育中に、前年の貯蔵養分から当年の同化作用に切り替える養分転換期があります。この時期は一般的に5月中旬とされ、そこから収穫までの期間が養分競合警戒期間となります。この養分競合をできるだけ回避するため、養分転換期以降に枯死する「雪印系ナギナタガヤ」の栽培がおすすめです。



## 利用のポイント

- 播種する園地（圃場）の雑草は除草剤等で処理し、枯らして裸地状態にする必要があります。
- 土壌が乾燥しやすい圃場や早魃（かんばつ）時期の場合は、播種後に極浅耕起による覆土がおすすめです。
- 一般的に草生栽培は斜面などが滑りやすくなるため、作業時は十分に注意してください。
- 草生栽培は地温が下がり、果樹の開花が遅くなるのでは？と言われることが、実際は収穫時期にはほとんど差がないことが検証されています。
- 種子は細い芒があるため、結実後は靴や靴下などにつくことがあります。倒伏枯死後2週間程度は、作業時の履物に注意してください。
- 特に西日本などの温暖地では、敷きわら状になったナギナタガヤの分解が早く進みます。そのため、夏場は裸地になりやすく、雑草も発生しやすくなるため除草処理が必要な場合があります。



### 「雪印系ナギナタガヤ」利用の注意点

- ※ ナギナタガヤは寒地型草種のため、上記播種期より早すぎると残暑の期間と重なり発芽直後に枯れてしまうことがあります。また、遅いと越冬時の草丈が小さすぎて倒伏時期が遅れたり、分けつ不良になって十分な被覆効果を得られない場合がありますので播種期をしっかり守ってください。
- ※ 積雪期間の長い地域では雪腐病の発生が認められる場合があります。
- ※ ブドウの「テラウェア」への利用においては、収量が低下するするという報告もありますのでご利用の際はご注意ください。

## ダイカンドラ（コート種子）

雑草を寄せ付けない、強い味方参上！



播種量

5~10kg/10a

ヒルガオ科の暖地型多年生草種です。  
草丈10cmでビッシリと地表を覆い、雑草を寄せ付けません。  
半日陰～陽地まで生育可能で、過湿土壌でも生育可能です。  
一度定着したら、長年利用可能です。  
（寒高冷地では越冬できない地域もあります）

### 播種期

寒高冷地	5月下旬～6月下旬
一般地	5月上旬～7月中旬
西南暖地	4月中旬～7月中旬

※ 肥料分の少ない圃場では、播種時に窒素・リン酸・カリを各5kg/10aの施用がおすすめです。



果樹園での利用事例



駐車場での利用事例



# 果樹草生栽培用フルーツグラス®の定番草種



フルーツグラス® AR-1

初期から旺盛な生育で雑草を抑制するイネ科草種。イタリアンライグラスより倒れやすく自動マルチの使い方也可能。

播種量 3~5kg/10a

播種期	春播き	秋播き
寒高冷地	4月上旬~4月下旬	9月中旬~10月上旬*
一般地	3月中旬~4月上旬	9月中旬~10月下旬
西南暖地	3月上旬~3月下旬	9月下旬~11月中旬

※積雪期間が長い地域では雪腐病の発生が認められることがあります。



イタリアンライグラス マンモスB

生育が早く雑草抑制効果が高い。根が深く入り、土壌の団粒化と透水性を改善します。

播種量 3~4kg/10a

播種期	春播き	秋播き
寒高冷地	4月上旬~4月下旬	9月上旬~10月中旬
一般地	3月中旬~4月中旬	9月中旬~10月下旬
西南暖地	2月下旬~4月上旬	9月下旬~11月上旬



矮性トールフェスク ボンсай3000

生長量も少なく低い草丈を維持します。根量も多く耐干性に優れています。

播種量 5~10kg/10a

播種期	春播き	秋播き
寒高冷地	4月上旬~5月下旬	8月下旬~9月下旬
一般地	3月中旬~4月下旬	9月下旬~10月中旬
西南暖地	2月下旬~4月上旬	10月上旬~11月上旬



ライムギ 緑春

高冷地でも早春の伸びが良く、有機物の生産量が豊富です。

播種量 5~8kg/10a

播種期	春播き	秋播き
寒高冷地	3月下旬~5月上旬	9月上旬~10月中旬
一般地	3月上旬~4月中旬	9月下旬~12月上旬
西南暖地	1月下旬~4月中旬	10月上旬~12月下旬



ケンタッキーブルーグラス アワード

寒地型イネ科の定番草種。ほふく型で刈り取りが少なく済みます。

播種量 3~5kg/10a

播種期	春播き	秋播き
寒高冷地	4月上旬~5月下旬	8月下旬~9月上旬
一般地	3月中旬~4月下旬	9月下旬~10月上旬



センチビードグラス サマーグラス

被覆回復力抜群！ほふく型で密度の高い草種です。

播種量 5~10kg/10a

播種期	寒高冷地	一般地	西南暖地
春播き	4月上旬~5月下旬	3月中旬~4月下旬	1月下旬~4月中旬
秋播き	6月上旬~7月中旬	5月下旬~8月上旬	10月上旬~12月下旬



シロクロバ リベンデル(コート種子)

土壌適応性が広く、窒素固定も期待できます。小葉タイプで管理も楽。

播種量 2~3kg/10a

播種期	春播き	秋播き
寒高冷地	4月中旬~5月下旬	8月下旬~9月下旬
一般地	3月中旬~4月下旬	9月下旬~10月中旬
西南暖地	2月下旬~4月上旬	10月上旬~11月上旬



バヒアグラス

VA菌根菌によりカンキツ類の収量、品質を向上します。

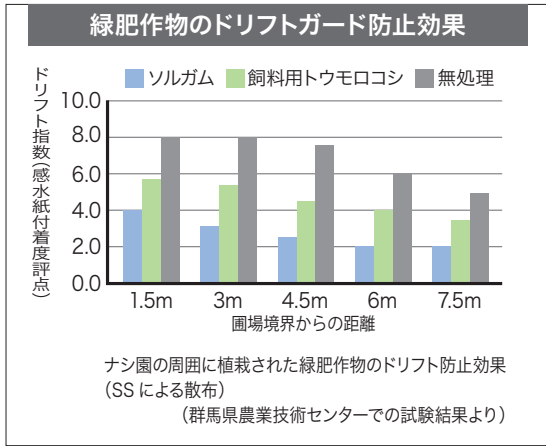
播種量 2~3kg/10a

播種期	一般地	西南暖地
春播き	3月中旬~4月下旬	1月下旬~4月中旬
秋播き	5月下旬~7月中旬	10月上旬~12月下旬

# ドリフトガード作物 栽培方法と利用のポイント

## 【品種選定】

- 茎葉の多いソルガムやエンバク等がドリフトガード作物に適します。



※ 上図は下葉の多いソルガムと下葉の少ないトウモロコシのドリフト指数(感水紙付着度指数)の差を示したグラフです。ソルガムの指数が低く、効果が高いことがわかります。

## 【播種方法】

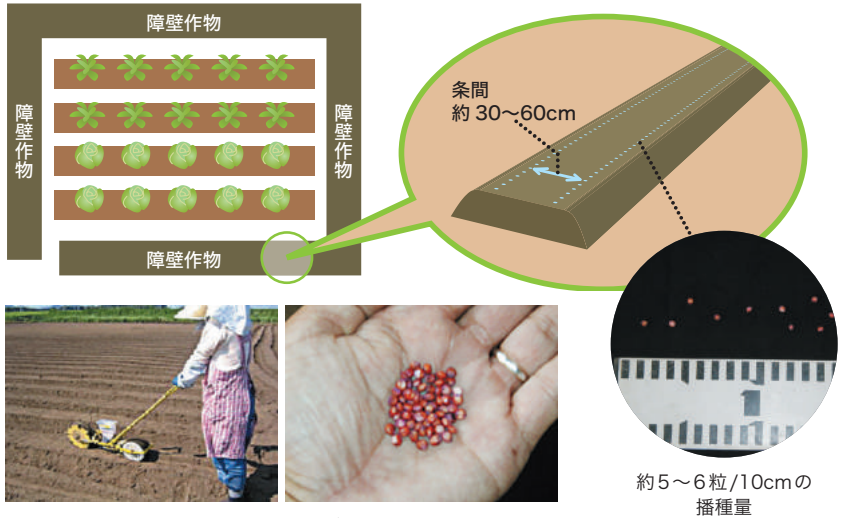
- 主作物との間は1～2m程の間隔をとり、2～3条播種。

**株間** 播種機利用の場合は、10cm程度で1穴へ2～3粒播き。条播では5～6粒/10cm播き。

**播種量** 10mあたり約20g  
(10a圃場では3条播きで1.3～1.5kg)

**施肥量** 通常は無施肥。  
肥料分の少ない畑ではN・P・Kで各5kg/10a

- 播種後の覆土・鎮圧は十分行なってください。
- 鳥食害対策として、播種部分の上部5～10cmにミシン糸などを張ると効果的です。

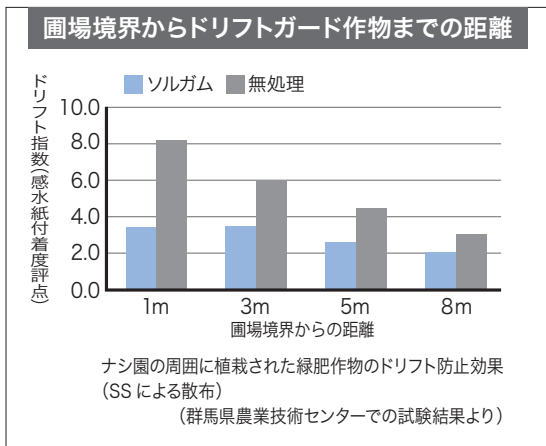


播種機「ごんべい」などを  
利用して播種する。

ソルガム種子の大きさは4～  
5mm。覆土は約1～1.5cm。

## 【野菜との間隔】

- 野菜の畦から1～2m以内に播種してください。
- 野菜の生育に影響を与えないようにしながら、畦に近いほど効果が上がります。



※上図は野菜の畦からの距離によるドリフト指数を示しています。3mを越えると無処理との差が少なくなり、効果が薄れます。

## 【利用後の処理】

- ドリフトガード作物として利用が終わったら、そのまますき込み緑肥としてご利用下さい。

※ 播種した場所や所有している機種によって対応が変わります。



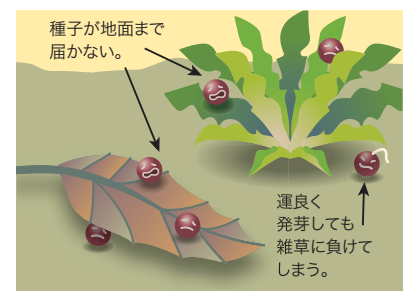
ロータリーすき込みの様子



プラウすき込みの様子

## ワンポイントアドバイス

ドリフトガード作物をきれいに発芽させる為には、覆土の厚さは「種子の3倍程度」を目安にしましょう。鎮圧は土壤の乾燥を防ぎ、種子の吸収をしやすくするために重要です。





## 春から夏に播けるドリフトガード作物

### ソルガム 三尺ソルゴ

障壁作物として使いやすい低草丈のソルガム



耐倒伏性に優れ、葉物・根葉類の障壁に最適です。  
草丈は1.0m～1.5m前後の小型ソルガムで、利用後の処理も大型の農業機械がなくても扱いやすいです。

#### 利用のポイント

- 出穂（播種後2ヶ月）したら、穂を切り落とすことをおすすめします。倒れにくくなるため長期利用が可能になり、鳥類を寄せ付けなくなります。
- 障壁作物利用後は、すき込みや敷きわら利用、堆肥と多様な用途があります。また、すき込みも他のソルガムよりも草丈が低く、簡単に処理できます。

※播種量、播種期はP.12の表を参照してください。

### ソルガム つちたろう

穂が極めて出にくい極晩生のソルガム



極晩生品種で極めて出穂しにくいいため、鳥害を回避できます。  
草丈が高く、倒れにくいことから果樹園等の草丈の高い作物の障壁に適します。

#### 利用のポイント

- 草丈が3m以上と高くなり、一時的に日陰部分が多くなるため対象作物からやや離して栽培することをおすすめします。

※播種量、播種期はP.12の表を参照してください。

#### ソルガム類利用の注意点

※ 生育中のソルガムにはアブラムシがつくことがあります。ソルガムにつくアブラムシ（主にヒエノアブラムシ）と野菜類につくアブラムシの種類は異なることが多く、ソルガムにつくアブラムシが直接野菜に被害を与えることは少ないといわれています。またアブラムシを捕食する土着天敵がソルガムにつき、農薬散布回数軽減も期待されます。

### トウモロコシ スノーデントシリーズ

ソルガムより早く播ける!!



ソルガムより低温発芽性に優れています。種子が大きく播きやすいです。

#### 利用のポイント

- ソルガムに比較して下の葉が少ないので、2～3条の播種がおすすめです。播種間隔（株間）は20～30cmをおすすめします。

※ 利用する目的や利用期間によって、使用品種が異なりますので、利用に当たっては最寄りの営業所または研究農場にお問い合わせ下さい。

※播種量、播種期はP.12の表を参照してください。



# 秋に播いて翌春から利用できるドリフトガード作物

## ライムギ 緑春/R-007

早春のドリフトガードに最適！



低温伸長性に優れ、他の麦類より遅くまで播種可能です。早春の生育が早く、春先のドリフトガードに最適です。「緑春」は極早生、「R-007」は中晩生です。

### 利用のポイント

- 積雪期間の長い地域では「R-007」をおすすめします。
- 少しでも早くドリフトガード効果を得たい場合には、極早生品種の「緑春」を利用下さい。
- ライムギは秋播き向きの草種ですが、カバークロープとして春播き利用も可能です。春播きでは出穂せず（種を落とさない）土壌表面を覆うため、土壌流亡や雑草の発生を長期間抑制します。

※播種量、播種期はP.12の表を参照してください。

## エンバク とちゆたか

耐倒伏性に優れ、春から初夏の障壁に最適！



茎が太く、耐倒伏性に優れるエンバクです。初期生育が旺盛なため、風の強い時期の土壌被覆および春から初夏の障壁利用に最適です。

### 利用のポイント

- 障壁作物利用後はすき込みや敷きわら利用が可能です。
- エンバクは耐暑性が低いため、夏の利用は控えて下さい。
- 草丈がソルガムより低いので、スピードスプレイヤー等の機械による農薬散布には注意が必要です。

※播種量、播種期はP.12の表を参照してください。

### ドリフトを防ぐための利用のポイント

- ドリフトを防ぐためには、ドリフトガード作物の草丈が1mを超えると安定した効果を発揮します。対象野菜の生育とドリフトを軽減したい時期を考慮して、播種しましょう。

### ソルガム類 各品種の生育日数別草丈の目安

品種名	播種期	2週間後	5週間後	6週間後	8週間後	9週間後	11週間後
三尺ソルゴー	6月下旬	10	70	90	<b>135</b>	160	165
つちたろう	6月上旬	15	75	110	195	220	260
ねまへらそう	6月上旬	10	60	95	160	180	210
ハイグレンソルゴー	6月上旬	15	50	85	155	<b>160</b>	210

※太字は、出穂時期を示します。

(弊社 千葉研究農場)

※気象条件や播種量、播種時期によっては上表のような生育をしない事があります。

# 畑作物・野菜への 地力増進緑肥の利用事例

緑肥作物を導入する大きな目的は、土壌の地力増進です。  
地力の増進によって野菜などの安定した生育が保たれ、また、化学肥料の減肥も可能になります。  
緑肥作物の中でも、地力増進には特にマメ科緑肥作物が有効です。

## 秋、または早春播種(定植)野菜への利用

● 秋・早春の作付野菜や畑作物への利用には、夏の緑肥がおすすめです。



**雪印クロタラリア**  
(ネマックス・ネマキング・ネマコロリ)



**高温環境を好むマメ科の緑肥作物**  
肥料成分の補給と粗大有機物の投入が実現できます。品種特性が異なる3品種があり、各種線虫抑制にも効果的。利用目的に応じて使い分け可能です。

スーダングラス **ねまへらそう**



**高温を好むスーダングラスの晩生種**  
初期生育が良好で、短期での粗大有機物の確保が期待できます。夏場のキタネグサレセンチュウやサツマイモネコブセンチュウ対策にも実力を発揮します。

ソルガム **つちたろう**



**高温を好むソルガムの晩生種**  
初期生育が旺盛で短期での粗大有機物の確保ができ、ハウスや畑の残肥のクリーニングクロープ利用にも最適です。サツマイモネコブセンチュウにも高い抑制効果が有ります。

### 【タマネギ栽培への緑肥利用例(静岡)】



タマネギ定植後の状態



#### 栽培概要

7月 「雪印クロタラリア」播種  
9月下旬 「雪印クロタラリア」すき込み  
11月下旬～12月 タマネギの苗を定植 ※施肥なし





# 春から初夏播種(定植)野菜への利用

● 春～初夏の作付野菜や畑作物への利用には、秋播きの緑肥がおすすめです。



冷涼環境を好み、春の温度上昇で生育量を伸ばすマメ科の「雪印ヘアリーベッチ」や、イネ科の「緑肥ハイオーツ」「R-007」の利用により、肥料成分の補給やコントロール、粗大有機物投入や深根特性による土壌物理性の改善が期待できます。

## 雪印ヘアリーベッチ 寒太郎・藤えもん・まめ助



雑草抑制や地力アップに最適なマメ科の一年草

前作緑肥利用することで、高い貯養効果による地力アップが期待できます。また、一年生雑草の発生抑制にも効果が期待できます。特性の異なる3品種で使い分けを!

## ライムギ R-007



越冬性抜群のライムギ中晩生種です。

低温での発芽・初期生育に優れるため、早春の有機物の確保が実現できます。キタネグサレセンチュウ被害の軽減効果も高く、積雪地帯での秋まき越冬利用にも最適です。

## エンバク野生種 緑肥ハイオーツ



発芽が早く、初期生育が旺盛なエンバク野生種です。

短期での有機物が確保できます。キタネグサレセンチュウを抑制し、各種病気の発生も軽減する事例が数多く報告されています。播種量は10～15kg/10aです。

## 【オクラ栽培への緑肥利用例(鹿児島)】



### 栽培概要

- 11月上旬 「雪印ヘアリーベッチ 藤えもん」播種
- 2月下旬 「雪印ヘアリーベッチ 藤えもん」すき込み
- 3月 オクラ播種 ※施肥・基肥なし、追肥は尿素

生産者からの声♪  
追肥量が1/3になりました!



## 【キャベツの前作利用に!】



## 【キュウリの前作利用に!】



## 【バレイショの前作利用に!】



※いずれも「雪印ヘアリーベッチ」すき込み後の作付けです。

ドリフトガード作物の利用方法と播種量

品名	種類	地域	対象作物			播種期	防止期間	出穂期の草丈 (cm)	播種量 (条播) (kg/10a)
			葉菜・ 根菜類	果菜類	果樹				
つちたろう (穂が出にくいタイプ)	ソルガム	寒高冷地		○	○	5月下旬～7月下旬	7月～10月	280～330	1～2
		一般地		○	○	5月中旬～8月中旬	7月～11月		
		西南暖地		○	○	5月上旬～9月上旬	7月～11月		
ねまへらそう (穂が出にくいタイプ)	スーダン グラス	寒高冷地		○		5月下旬～7月下旬	7月～10月	250～300	1～2
		一般地		○		5月中旬～8月上旬	7月～11月		
		西南暖地		○		5月上旬～8月中旬	7月～11月		
堆肥ソルゴー	ソルガム	西南暖地		○	○	5月上旬～8月中旬	7月～11月	300～400	1～2
ハイグレンソルゴー	ソルガム	寒高冷地		○		5月下旬～7月上旬	7月～10月	160～210	1～2
		一般地		○		5月中旬～7月下旬	7月～11月		
		西南暖地		○		5月上旬～8月中旬	7月～11月		
三尺ソルゴー	ソルガム	寒高冷地	○			5月下旬～7月下旬	7月～10月	100～150	1～2
		一般地	○			5月中旬～8月上旬	7月～11月		
		西南暖地	○			5月上旬～8月下旬	7月～11月		
スノーデント シリーズ	デント コーン	寒高冷地		○	○	5月上旬～6月下旬	7月～10月	230～250	2
		一般地		○	○	4月下旬～6月下旬	7月～11月		
		西南暖地		○	○	4月上旬～7月下旬	7月～11月		
ニューオールマイティ	エンバク	寒高冷地	○			4月上旬～5月上旬	5月中～6月	100～130	3～5
		一般地	○			10月中旬～11月中旬	4月～6月		
		西南暖地	○			10月下旬～11月下旬	3月～5月		
とちゆたか	エンバク	寒高冷地	○			4月上旬～5月上旬	5月中～6月	90～120	3～5
		一般地	○			10月中旬～11月上旬	4月～6月		
		西南暖地	○			10月下旬～11月下旬	3月～5月		
緑春・R-007	ライムギ	寒高冷地	○			9月上旬～10月中旬	4月～6月	120～150	3～5
		一般地	○			9月下旬～12月上旬	4月～6月		
		西南暖地	○			10月上旬～12月下旬	3月～5月		
ライッココⅢ	ライコムギ	一般地	○			10月中旬～11月中旬	4月～6月	110～130	3～5
		西南暖地	○			10月下旬～11月下旬	3月～5月		

ドリフトガード利用の注意点

- ※ 障壁作物だけでは完全に農薬の飛散を防ぐことはできません。散布時の風向きや風速に注意し、ネットやノズルなどの資材と合わせて利用することがおすすめです。
- ※ 障壁作物が十分に生育していないと、より良い効果が発揮できないため、播種量と播種期に注意してください。
- ※ 使用後は家畜の飼料などには使用せず、敷きわらや堆肥化利用、有機質の補充としての利用がおすすめです。
- ※ 高い障壁作物を利用する場合は、栽培作物が日陰となる場合がありますのでご注意ください。

 雪印種苗株式会社

十和田営業所 (0176)28-2251  
 盛岡営業所 (019)613-3567  
 白石営業所 (0224)24-5318  
 栃木営業所 (0287)71-1321  
 群馬営業所 (027)280-4761  
 水戸営業所 (029)291-5261  
 南関東営業所 (043)241-0201

岡山営業所 (0868)54-3601  
 熊本営業所 (096)292-3430  
 南九州営業所 (0986)52-6800  
 東京園芸営業課 (043)216-6288  
 千葉研究農場 (043)259-2826  
 宮崎研究農場 (0986)52-4221



- 用紙:適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ:大豆油インキを含む植物油インキ
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO<sub>2</sub>をカーボンオフセット済
- CO<sub>2</sub>排出量:182.3g/部